

# 平成28年度 御代田町消防団幹部の皆さん



- |        |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|
| 本部班長   | 小平 佳伸 | 副ラッパ長 | 山本 直樹 |
| 第十三分団長 | 茂木 智幸 | 第五分団長 | 土屋 仁生 |
| 第十二分団長 | 樋口 正次 | 第四分団長 | 古越 孝彦 |
| 第十一分団長 | 柳澤 正訓 | 第三分団長 | 土屋 毅  |
| 第十分団長  | 土屋 陽一 | 副団長   | 丸山 善行 |
| 第九分団長  | 堀込 幹男 | 副団長   | 竹内 政輔 |
| 第八分団長  | 上原 亮一 | 副団長   | 柳澤 敏彦 |
| 第七分団長  | 木内 拓郎 | ラッパ長  | 内堀 健司 |
| 第六分団長  | 中藤 博文 | 第二分団長 | 猪熊 純  |
|        |       | 第一分団長 | 真嶋 直行 |

## ごんにちは農業委員会です

■農業委員会事務局(32)3113

平成28年度

### 御代田町農作業標準労賃・機械作業料金表

作業の種類	労賃・料金	備考	水田		畑	耕起		土壌改良	代かき	機械		
			一般作業	田植作業		畑	普通田			整備田	収穫	田植
一般作業	800円	1時間当たり	一般作業	800円	1時間当たり	ロータリー	ロータリー	ロータリー	7500円	7500円	10000円	10000円
田植作業	900円	1時間当たり	整備田	7500円	10a当たり	ロータリー	ロータリー	ロータリー	8000円	7500円	10a当たり	10a当たり
畑	800円	1時間当たり	普通田	8000円	10a当たり	ロータリー	ロータリー	ロータリー	7500円	8000円	10a当たり	10a当たり
土壌改良	9300円	縦横1m間隔引き	整備田	7500円	標準15cm耕起	ロータリー	ロータリー	ロータリー	8000円	7500円	10a当たり	10a当たり
代かき	7500円	(田の状況により2回、3回の場合は別途協議)未整備田は10%割増	普通田	8000円	10a当たり	ロータリー	ロータリー	ロータリー	7500円	8000円	10a当たり	10a当たり
機械			収穫	10000円	10a当たり	ロータリー	ロータリー	ロータリー	7500円	8000円	10a当たり	10a当たり
田植	10000円	10a当たり	田植	9000円	10a当たり	ロータリー	ロータリー	ロータリー	7500円	8000円	10a当たり	10a当たり
収穫	10000円	10a当たり	田植	9000円	10a当たり	ロータリー	ロータリー	ロータリー	7500円	8000円	10a当たり	10a当たり
堆肥散布	52000円	1台当たり	田植	9000円	10a当たり	ロータリー	ロータリー	ロータリー	7500円	8000円	10a当たり	10a当たり

- 消費税の8%は外税
- 大型機械等の遠隔地への移動は実費。
- ほ場の条件により割増。
- 労賃・料金は標準です。場合により両者によって決定してください。

## 地震に備えて

皆さんの記憶に新しいと思いますが、平成28年4月14日21時26分頃に、熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生しました。さらに4月16日未明には、再度最大震度7の地震が発生しました。地震はいつ起きるか分かりません。もし地震発生を予知できたとしても、備えておかなければ被害は甚大なものとなります。被害を抑えるために、日常の対策などについて考えていきたいと思ひます。

### いざ地震が起こったら 自らの命を守る行動

<b>1</b> 屋内にいたら	倒れかかる家具などから身を守るため、座布団などで頭を保護しながら、テーブルや机の下に逃げ込んでその脚部分をおさえましょう。さらに、ドアを開けるなど脱出経路を確保し、懐中電灯等の明かりも確保しましょう。
<b>2</b> 屋外にいたら	建物やブロック塀の倒壊や窓ガラスの落下などの危険を避けて、空地などの安全な場所に避難しましょう。

### 被害の拡大を防ぐ行動を

<b>1</b> 火災の拡大を防ぐ	地震の際、火元の確認と初期消火に努めることは被害の拡大を防ぐ基本です。大震災の際にストップしていた電気の供給が再開された時に、つけっ放しのアイロン等に電気が流れるなどして火災が発生する事が少なくありません。(通電火災といひます)避難の際にはブレーカーを落とす必要があります。
<b>2</b> 交通の混乱を防ぐ	被災地では、救急・救助・消火活動のため、交通規制が行われます。自家用車での避難は逃げ遅れの原因になります。また、救急活動の妨げにもなるので、注意して下さい。

### 災害発生前の備え

<b>1</b> 家具の固定	地震で重要なのが家具の転倒防止です。タンスや冷蔵庫などの大型の家具の転倒は、命の危険に繋がりますので必ず転倒防止に努めて下さい。突っ張り棒やL金具等、天井や壁にねじ等で固定するものは、天井や壁の強度が十分かどうか注意しましょう。また、落下物による怪我防止の為、家具の上にはものを置かないようにして下さい。
<b>2</b> ガラスの飛散	割れたガラスは避難の妨げになります。ガラスに飛散防止フィルムを貼るのが効果的です。また、寝室に靴などを置いておく工夫も有効です。
<b>3</b> 避難所を知ろう	各地域でどのような場所が避難場所に指定されているか予め確認する事が重要です。
<b>4</b> 食糧・水等の備蓄	災害発生直後は、食料等の支援物資が届くまである程度時間がかかることを想定し、最低3日分の食料や水の備蓄をしておく必要があります。また赤ちゃんのいる家庭では、ミルクやおむつ着替えなど、赤ちゃん用の持出し品も用意してあげて下さい。

### 助け合いの行動を

身体の不自由な方やお年寄りの方。妊婦さんや小さなお子さんなどは避難の際、周りの手助けがどうしても必要になります。自らの安全を確保すると共に、手助けを必要とする方への援助が災害には必要になります。